

# 神宮前 二丁目 新聞

TAKE  
FREE  
第8号  
2017年3月

しんに  
神二で暮らす、働く、遊ぶ。  
地元メンバーが届ける、  
超地域限定フリーマガジン。  
春、期待に胸おどらせる新入生に  
あやかって、今号のテーマは  
「学び」でお届けします。

千駄谷小学校の児童からもらった電話をきっかけに小学生たちとコラボした神二新聞の第6号。

ある日、この記事を見たと言う先生から

「うちの生徒も神二新聞で原稿を書かせてほしい」と電話が入った。

聞けば、国際高等学院という通信制高校サポート校なのだという。

えっ、神二にそんなところがあるの？

この目でしかと確かめねば!

# 神二で学ぶ 高校生

取材・文＝上野絵美  
撮影＝松村小悠夏、国際高等学院

国際高等学院の前で生徒をモデルに撮影。指定の制服もあるが、ほとんどの生徒が私服で登校しているようだ。

## 神二でどんな高校生活を送っているの？

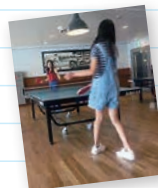
一見するとマンションのような建物の一室にある国際高等学院。本当に生徒が通っているの…？  
恐る恐るドアを開けると、いきなり職員室が現れた。メゾネットタイプの空間で、2階が教室になっている。

### 神二新聞の出張授業スタート!

国際高等学院では、通信制高校の卒業資格取得を目指す生徒をサポートしている。週2日通学もOKだから、モデルなどの芸能活動をしながら通っている生徒もいるという。

先生に案内されて2階の学習スペースに足を踏み入れると、ベースにギター、電子ドラムや電子ピアノまで置いてある。生徒がクリスマス会で演奏するときを使うらしい。

昼のチャイムが鳴り、4人の生徒が席につく。この日はあらかじめ、「神二新聞でやりたい企画を考えて

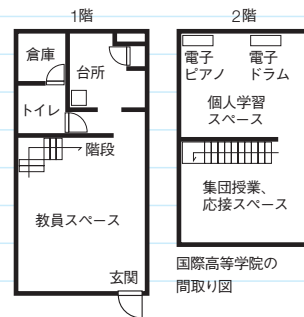


渋谷の卓球場にて体育の授業中。代々木公園でバドミントンをすることも。

2016年の学園祭は、神二の「kurkku home」でカフェと展示を行った。



おく」という宿題を出しておいたのだ。ホワイトボードには「書きたい記事→国際高等学院とその生徒の紹介」とある。さらに先生が「生徒たちは新聞の作り方にも興味があるんです」と言った。「じゃあ、生徒同士でお互いをインタビューし合って、生徒を紹介する記事を作るのはどうですか？取材や原稿を書く体験ができるし、神二の読者に学校のことも知ってもらえますよ」。そうして早速この日から、生徒たちの取材体験が始まったのだった。インタビューの成果は次のページへ!



### 授業がある日の過ごし方

- ショートホームルーム (10:00～10:10)
- 個人学習 (10:10～12:00)  
通信制高校のカリキュラムに沿った各教科をそれぞれのペースで学習する。
- 昼休み (12:00～13:00)
- 一斉学習 (13:00～14:45)  
ボランティア活動や行事の準備、プロカメラマンから撮影法を学ぶなど、体験型の授業を受ける。
- ショートホームルーム&掃除 (14:45～15:00)

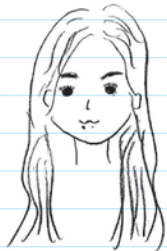
### SCHOOL DATA

通信制高校サポート校  
国際高等学院 原宿校  
住所▶神宮前2-30-9  
エスパティオ神宮前203  
生徒数▶12名  
教員数▶8名  
(2017年3月時点)

# 生徒がお互いをインタビューしてみた

生徒同士の取材中、横から口をはさみ、あれこれ質問を繰り出す編集部。それに若干戸惑いつつも、生徒たちは立派に原稿をまとめ、自分が取材した相手の似顔絵つきで送ってくれた。

## S.Kさん (高2) 強い向上心を秘めた 人気モデルの卵



雑誌やミュージックビデオのモデルを務めるKさんは、きれいなロングヘアで大人っぽい風貌。「でもね、話す幼稚園児みたいとか言われるー」とこぼすが、彼女は中高生の憧れの的になりつつあるモデルだ。「これでもいろいろ考えての。大学も行きたいし、モデルがダメだったときはモデル経験を生かした仕事に就きたい」。

●取材したのは S.Fさん

## M.Hさん (高2) かわいさとかっこよさを 兼ね備えた未来のシンガー



「人からはズバズバ言う性格って言われるけど、本音を言わないと相手にも自分にも失礼。本音を言ったら嫌われたら、それまでの関係だと思ってる」。かわいい見た目に反してかっこよさもあるMさんは、高校卒業後、沖縄で音楽をやりたいそう。彼女のサバサバした性格は、沖縄のなんくるないさー精神に合っているだろう。

●取材したのは S.Kさん

## S.Kさん (高3) ダンサーから音楽の世界へ 飛び込むタフな女の子



「幼稚園児の頃からずっと、ダンスと共に人生を歩んできた」と言うSさんは、EXILEのミュージックビデオにキッズダンサーとして出演した経験もある。現在は餃子屋、お好み焼き屋などのバイトをかけもちしているが、将来の夢は音楽に携わる仕事に就くこと。大勢の人と一緒にコンサートをつくりあげたいそうだ。

取材者不明

## S.Fさん (高3) さまざまな表情で魅せる 演技派モデル



サロンモデルをきっかけにモデルを始めたSさん。雑誌を見ると、クールな雰囲気からキュートに笑う姿まで、さまざまな表情を見せている。モデルの仕事は「アルバイト代わり」だそうで、大学進学後は学業を優先するため辞めるかも、とのこと。今のうちに本屋に立ち寄って、Sさんが載っている雑誌を見ておかねば。

●取材したのは A.Hくん

## T.Tくん (高1)



## 小学校教師を目指す クールなドラマー

父親の影響で音楽好きになったTくん。「よく演奏するジャンルはJ-ROCK。簡単なやつならできますけど」と言ってMyスティックを取り出し、教室の電子ドラムで演奏してくれた。将来の夢を尋ねると、ドラマーではなく小学校の先生。小学生のときに担任だった先生に憧れているからだそうです。

●取材したのは S.Fさん



## K.Tくん (高2)

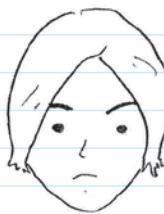


## モデル歴17年。演技の レッスンに精を出す努力家

0歳からモデルの仕事始めたKくん。今は特に演技に力を入れていきたいという。その理由を、「中学のときにやらかまして…」と苦笑いしながら話してくれた。それはWEBムービーの撮影現場でのこと。出演者のうちKくんだけ演技は素人という状況でNGを連発、何度も撮り直したという。その悔しさをきっかけにイチから演技を学んでみたいと決意。今では毎週、演技のレッスンにいらしている。

●取材したのは T.Tくん

## Y.Yさん (高3)



## 珍しい缶詰があると 思わず買ってしまう料理女子

普段は物静かなYさんだが、料理の話になると表情が変わる。大福や水ようかん、鮭フレークも自分で作るそう。ラーメンは鶏ガラを買ってスープから作り、うどんやそばも麺から打つというから絶句した。既に料理の専門学校に合格していて、「海老芋汲みゆば蒸し」や「ブリの奉書煮(ほうしょに)」などを作るらしい。きっと将来はハイレベルな料理でどんな男性の胃袋もつかむだろう。

●取材したのは S.Fさん

## A.Hくん (高1)



## 磨き上げた美しい手を保つ 「手タレ」さん

ハンドクリームの広告などで手が写る「手タレ」をしているAくんは、男の子とは思えないほど華奢できれいな手をしている。手をきれいに保つため、外出時はもちろん、寝るときも手袋が欠かせない。さらに入浴中はシワができるのを防ぐため、手がお湯に浸かりすぎないように気をつけているそう。

●取材したのは S.Kさん





神二の「魅せるプロ」に学ぶ

## もっと男前になる方法

神二にもっとカッコいい男性が増えてほしい！  
 そんな思いから、神二のスタイリスト、  
 メンズショップ、美容師、カメラマンに協力を仰いで  
 成立したこの企画。モデルは、  
 神二で働く丁子谷健良さん。プロの力で  
 似合う服選びからヘアメイク、撮影まで行い、  
 かつこよく変身してもらいました。

アウター2万6500円  
 インナー1万5700円  
 パンツ1万7800円  
 (オアグローリー神宮前店)  
 靴1490円 (GU)

取材・文=上野絵美 撮影場所=ペーターズギャラリー (神宮前2-31-18)

### MODEL

ちようじ やけんりよう

丁子谷健良 さん (36歳)

神宮前二丁目在住歴6年。5年間勤めた不動産の営業職から心機一転、2016年12月に焼肉屋「じんじん」(神宮前2-3-30 1階)をオープン。開店準備で忙しく10kgも痩せたそう。



### 普段のファッションは…

- 服にこだわりはない。持っている服は「スーツ」「スエード」「仕事着(写真左)」の3種類
- よく着る服の色は黒、グレー



撮影前、人生初のメイク体験をする丁子谷さん。「皮膚が薄く赤みが出やすいので、コンシーラーで赤みを抑えます」とヘアメイクのKojiさん。

### 丁子谷さんの男前度を上げるべく、4人の「魅せるプロ」が集結!



●スタイリング  
 ミキさん

読者モデルやバイヤーの経験を活かし、パーソナルスタイリストとしてファッション指南を行っている。神二の会員制バー「M」のママでもある。

### ジャストサイズできれいめに

「服のサイズ選びのポイントは『入るかどうか』ではなく『どんな着こなしをしたいか』で考えること」とミキさん。今はオーバーサイズが流行っていますが、丁子谷さんのようにがっちりした体型でよそゆき感を

出すなら、ジャストサイズを選んだほうがきれいだと思います。

### 挑戦するときは馴染みの色と

冒険するときは「馴染み」を味方につけるのがコツだそう。「今回は柄物に挑戦する分、丁子谷さんが着慣れている黒をベースにしました」。



●衣装協力  
 オアグローリー  
 神宮前店/宮田さん  
 神宮前2-24-4

### 襟元を開けてすっきりと

衣装選びにノリノリで協力してくれた宮田さん。アウター、インナー、パンツはオアグローリーのものです。「丁子谷さんは上半身に厚みがあるので、襟元がつかまっていなくておすすめです。今回着たような襟元が無地のパネルボーダーもいいですね」



●ヘアメイク  
 ヘアサロン  
 Panoramica/Kojiさん  
 神宮前2-31-21地下1階

### 短髪でもメリハリをつけて

「丁子谷さんに似合う髪型は短髪だと思います。今のままでいいですが、サイドと後ろの髪をもう少し短くして全体にメリハリをつけると、もっとカッコよくなるはず」とKojiさん。黒い服を選ぶ機会も多いので、髪の色は黒のままがいいとのこと。



●撮影  
 高草操さん

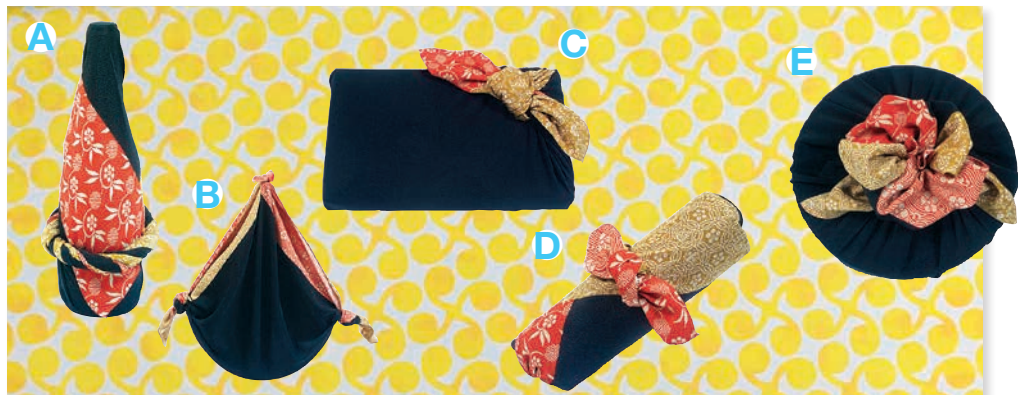
### リラックスした笑顔が一番

「自然な表情を撮るためには、撮る方も撮られる方もリラックスするのが一番」と言う高草さん。「丁子谷さんは笑顔が素敵なので、撮影中、会話を盛り上げてもっと笑顔を引き出せばよかったな」。編集部上野、会話術を学んでおきますっ!

【▶各お店の地図は裏表紙へ】

# 風呂敷の むすびかた

「風呂敷は、中のものに合わせて形をいろいろ変化させられるので、とっても便利です」。そう語る高橋さんに、風呂敷の多才ぶりを教えてもらいました。下の写真は同じ風呂敷でさまざまなものを包んだ様子。さて、中身はいったい何でしょう？



## 写真B「シンプルバッグ」の作り方を紹介

風呂敷をバッグに変身させる結び方はいろいろありますが、もっともシンプルなのがこれ。「急な荷物に備えて、カバンの中に風呂敷を1枚忍ばせておくといいですよ」と高橋さん。



- 風呂敷を三角形に折りたたみ、端を一つ結びする。
- もう片方の端も同じように結ぶ。
- 上部の両端をてっぺんで結んで完成。

### ●教えてくれたのは 風呂敷 むす美

高橋さん／神宮前2-31-8月に2～3回、店内で行う風呂敷講習会で風呂敷のさまざまな活用法を伝えている。4月の開講予定は2日・19日・29日。予約はWebから。

取材・文＝松村小悠夏  
写真提供＝むす美  
背景の風呂敷＝100伊砂文様  
アquadロップ新芽／3,780円

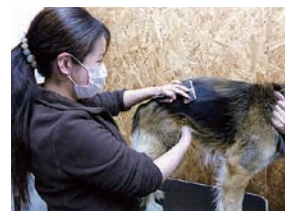
▶お店の地図は裏表紙へ

# 愛犬の ブラッシング

2頭の看板犬がいる神二新聞編集部。いくら掃除しても、床にはふわっと抜け毛の塊が…。「ブラッシングを習慣づけると抜け毛が減る」と言うトリマーのSさんに、ブラッシングのポイントを聞いてきました。

## ブラッシングが抜け毛対策にも！

ブラッシング嫌いな咲も、Sさんの手にかかると大人しくなった（若干震えてるけど）。「ブラッシングは力を入れすぎないことが大切。あとは慣れですね。毎日の散歩のあとにささっとやるだけでも、犬が慣れてくれます」とSさん。皮膚疾患のリスクだけでなく抜け毛も減らせるというブラッシング。愛犬の健康&飼い主の掃除のために、やらない手はありませんっ。



Sさん愛用の「スリッカー」(右側)はステンレス製。ゴム製のものより静電気が起きづらいとのこと。スリッカーで毛がある程度抜けたら、左のコムで仕上げをする。

しっぽをブラッシングするときは、しっぽの骨をコムで挟んでしまわないように注意。写真のように親指でしっぽの骨を軽く抑えながらブラッシングしよう。



●モデル  
咲(さく)  
メス・推定6歳・雑種  
飼い主…中村さん  
(神二在住)



### ●教えてくれたのは Sさん

トリマー歴8年。犬のカットからシャンプー、ブラッシングなど全メニューを担当。

取材・文＝上野絵美  
撮影＝みどりこ、松村小悠夏

▶お店の地図は裏表紙へ



神二の仕事人の流儀に迫る

「粥麵楽屋 喜々」のマスター

佐々木洋介さん

SASAKI Yosuke

## レコード事務所を立ち上げるはずが お粥専門店のオーナーになっていた元・宣伝マンの話

取材・文=松村小悠夏 撮影=高草操

サラリーマンから飲食店のオーナーへ。こんな経歴を聞くと、「きっと飲食店経営が長年の夢だったのだろう」と想像してしまうが、しかしこの人の場合は違う。外苑西通り沿いのお粥専門店「喜々」のオーナー・佐々木洋介さんだ。

「僕は今でも、前の職業こそ天職だったと思ってます」。そう話す佐々木さんの前職とは、大手レコード会社の宣伝担当。当時の会社では初めて、アルバイトから社員に抜擢された佐々木さんは、日々新しい企画を考え、大勢の人と進める仕事に魅力を感じ、のめり込んだ。しかし35歳のとき、「自分の名前でも仕事をしたい」と退社。そこへ友人から「知り合いが移動販売の店を辞めるので、車の処分が困ってる。お前何かやってみないか？」と声を掛けられた。

ゆくゆくは個人名義のレコード事務所を立ち上げるつもりだったが、何だかおもしろそうだと、同じく休職中だった2人の仲間と、1日講習で食品衛生責任者の資格を取得。品川の港南口にお粥のキッチンカーを出店した。始めはカレーにする予定だったが、「お粥の

ほうが珍しい」という仲間の意見で路線変更。読みは当たり、数年後にはキッチンカーを続けながら、深夜0時から明け方5時まで知り合いの店を借りて営業を始める。そして2005年、神二に「喜々」をオープンした。

それから12年。2人の仲間はそれぞれ帰郷し、今は佐々木さんが厨房に立ち、スタッフの指導もする。「別に、自分のお店を持つのが夢だったわけじゃないんですけどね」と言う佐々木さんだが、上海出身の知り合いに指導を求める一方で、国産の鶏や貝でダシを取るなど、おいしいお粥を研究し続けている。

「料理が特別好きだったわけじゃないし、同じことをコツコツ続けるのも苦手。でも成りゆきで始める仕事もあるんですよ。そして始めたからには後退しないよう、日々学び続けることです」。これが佐々木さんの流儀だ。

### SHOP DATA

粥麵楽屋 喜々  
住所▶神宮前2-6-6  
電話番号▶03-5474-6691  
メニュー▶トムヤムクン粥  
(写真右/900円)



【▶各店の地図は裏表紙へ】

# 世代を超えてアクティブに交流できる街へ

[#008 ポッチャは“多様性スポーツ”だっちゃ ]

老若男女LGBTも、障がい者も、外国人も。みんな集まれ!



デザイナー  
じん  
神やっこ

教えてくれた人  
新井大基さん

プランナー  
くろ  
宮やっこ

ショップカード作成から「神ニサンド」のプロデュースまで、神宮前二丁目を舞台にいろいろなデザインを進めてきた神二姉妹。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて

「神二をグローバルにウェルカムなローカルタウンに!」という原点に立ち戻り、いよいよ次のプロジェクトが起動します。

## Bocchia INFO

3月18日(土)に赤羽体育館で「2017 ポッチャ東京カップ」が開催。日本代表メンバーに加え、一般人も参加した。



写真提供=日本ポッチャ協会

神やっこ▶あれ? 宮やっこ、リバウンドしてない?  
宮やっこ▶バレました? 秋に糖質制限して5kg落としたのに…。  
神▶カラダに良くないよ。ちゃんと運動しなさい。  
宮▶実は、おもしろいスポーツを見つけて始めようかと。  
神▶もしかして「運動しやすい格好で来い」って呼び出したのはそのため?

宮▶正解! 「ポッチャ」っていうスポーツ、一緒にやってみませんか?  
神▶へえ。どんなスポーツなの?  
新井▶重度脳性まひ者や四肢重度機能障がい者のために考案されたヨーロッパ発祥のスポーツです。2016年のリオパラリンピックでは、チーム戦でメダルを獲得したんですよ。  
神▶誰?!  
新井▶日本ポッチャ協会の者です。さっそくトライしてみましょう!



ポッチャのルール  
この白球(目標球)を投げたあと、赤球と青球を6球ずつ投げ合う。目標球により多く近づけた方が勝ち!

- ①手でボールを投げられない選手は、足で蹴ったり、アシスタントのサポートのもとランプという補助具(写真の黄色いスロープ)を使う。
- ②日本ポッチャ協会の新井さんからルールを教わる神二姉妹。ボールの素材は選手や戦術によって異なると聞き、「へー!」。
- ③実際にポッチャに挑戦。床に赤線でマークしたボックスを踏み越えないようにボールを投げつける。試合は1対1の個人戦、2対2のペア戦、3対3のチーム戦がある。

5月14日(日)午後  
神二商店街のお祭  
「ヒーブルデザイン  
ストリート」で  
ポッチャ体験会  
やるよ!



神・宮▶よろしくお願ひします!  
——神二姉妹、ポッチャで白熱の対戦。  
神▶面白かった〜! ポッチャって、「お手玉×おはじき」って感じ。  
宮▶神二の子どもからおじいちゃん、おばあちゃんたちまで楽しんでく

れそう!  
神▶街のみんなが、ひとつのスポーツに取り組みるって素敵だね。  
宮▶ちょっと、これ「ヒーブルデザインストリート」でやりたい!  
神▶よ〜し、企画を考えます!

どこまで  
つながる？

# 神二でいい友リレー

取材・文・撮影=松村小悠夏

神宮前二丁目で暮らす・働く・遊ぶ人が、神二の友達を紹介するこのコーナー。  
前号で登場した柏井さんが紹介する「いい友」からスタートです！  
▶お店の地図は裏表紙へ



いい友 No. 4

柏井慶一さん  
(神二新聞第7号に登場)



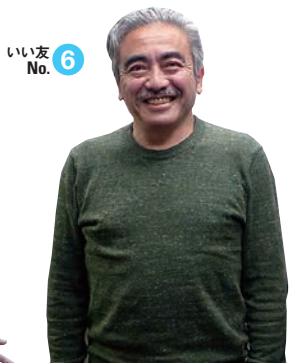
いい友 No. 5

## 井上俊雄さん(37歳)

「フルーツおじさんとしー」という芸名で吉本興行に所属しながら「もつ鍋旦過」(神宮前2-15-2)で働く。最近、宅配便は自宅ではなく集配センターで受け取るほうが便利だと学んだ。

柏井さんが語る  
井上さんってこんな人

数年前の雨の日、うちの紅茶店に来てくれたとしーと1時間ほど立ち話したのが仲良くなったきっかけ。芸人としての悩み話を話してくれた、俺も自分の店を立ち上げた苦労とかを話したなあ〜。としー、努力は必ず実る。応援してるよ!



いい友 No. 6

## 脇田清治さん(62歳)

生まれも育ちも神宮前二丁目。映像カメラマンとして世界各地を飛び回っている。最近学んだのは、「おはぎ」と「ぼた餅」は季節によって名前が変わるとのこと。

井上さんが語る  
脇田さんってこんな人

ワッキーさんは、僕がバイトしている「旦過」の常連さん。旦過が商店街のイベントに出店したとき、僕が唐揚げを失敗し、てんでこまいになっていたら「俺が揚げてやる!」と手伝ってくれました。僕もこんな頼りがいのある漢(おとこ)になりたいなあ。



いい友 No. 7

## 野崎清さん(62歳)

神二で育ち、ノザキエント(神宮前2-9-6)の店主となって40数年。最近、同じ失敗を何度も繰り返して「バカは死ななきゃ直らない」ということを学んだ。

脇田さんが語る  
野崎さんってこんな人

清のテキトーさは中学から変わんないね。この前も清が係を務めた行事で「人手が足りない」と相談してきたから手伝いに行ったのに、本人が来なくて…お前は係だろうがよ! でも、俺のカメラの三脚用の袋を作ってくれたり、いいところもあるんだよね。



いい友 No. 8

## 新井清一さん(74歳)

大阪出身。34年前に東京に引っ越し、不動産屋「リツツウェル」(千駄ヶ谷2-7-5)を開業。神二の居酒屋に、最低週に3回は出沒する。最近学んだのはLINEのスタンプの送り方。

野崎さんが語る  
新井さんってこんな人

商店街の役員で仲良くなって、もう30年以上の付き合い。役員の会合で正論を感情的にならずにピシッと言うところは、やっぱり年の功だよな。けど女の子の前では、俺と同じ年だろうとするんだよね。見た目が若いから、みんな信じちゃうしさ…。



いい友 No. 9

## 堀川真也さん(42歳)

ダーツバー「FiGALO原宿H-14」(神宮前2-19-13)のオーナー。店は、若者はもちろん商店街のおじさまたちの遊び場にもなっている。最近学んだのは金魚の飼い方。

新井さんが語る  
堀川さんってこんな人

誠実な男だと思います。僕はよくダーツ用の小銭をお店に忘れちゃうんですが、シンくんは100円玉1枚でも取っておいてくれる。プライベートでは、子どもができたことをいち早く教えてくれたり、LINEの使い方を教えてくれたり、息子のような存在ですね。



いい友 No. 10

## 村川季世さん(26歳)

神二生まれで、実家は日本舞踊・若柳流の家元。舞踊家として活動する傍ら、居酒屋やバーで接客を手伝うことも。3カ月前から、英会話を学び始めた。

堀川さんが語る  
村川さんってこんな人

6年くらい前から、週に4〜5日はうちのダーツバーに通ってくれています。人手が足りなかったとき、半年ほど店を手伝ってもらったことも。お客さんの話したいことを自然に引き出し、店のいい雰囲気をつくってくれる、ユーモアと礼儀正しさのある子です。

前号で登場した柏井さんが紹介するのは

井上さんが紹介するのは

脇田さんが紹介するのは

野崎さんが紹介するのは

新井さんが紹介するのは

堀川さんが紹介するのは

村川さんが紹介する「いい友」は次号に登場!



# 神宮前二丁目新聞を一緒に作りませんか？

神宮前二丁目でご暮らし・  
働く人・遊ぶ人なら誰でもOK!

## 情報提供・企画参加

隠れた達人いませんか？

「本業とは関係ないけど、実はこんなことが得意です」という人を探しています。とっておきの知識、技を神二新聞で披露しちゃってください。自薦他薦も歓迎しません。

あなたの昼めし事情を教えてください  
神二で働く人たちはお昼に何を食べてるの？ お店でランチ、コンビニで買う、手作り弁当を持参etc。あなたの業種と合わせて「昼めし事情」を教えてください。

## 「回覧板」への掲載

「服譲ります」「期間限定メニュー始めました」など、神二の人にいま知らせたいことをご応募ください。掲載料は無料です。

●次号の「回覧板」スケジュール

4/20(木) 応募締切

5/10(水) 発行予定

## イラストレーター、カメラマン募集

謝礼のお支払いはできませんが、それでもOKという方、プロ・アマ問わずお待ちしています。

## 公開編集会議のお知らせ

「こんな企画をやってほしい」「カメラが好きだから撮影手伝うよ」など、神二新聞の制作に興味がある方、みんなでワイワイ話しましょう。

●参加費／無料（簡単なおつまみと飲み物をご用意しています）

●日時（予定）／5月16日（火）夜  
詳細は4月10日（月）発行予定の「回覧板」にて告知します！

## 次号のお知らせ

「神宮前二丁目新聞」第9号は  
6月10日(土)に発行予定!

## 応募先

電話 03-3478-1774

メール jin2shinbun@pot.co.jp

WEBサイトに応募フォームを設けています

神宮前二丁目新聞 検索

FAX 03-3402-5558

WEB http://jin2news.net/

トップへ応募



## 緊急募集!

## 商店街イベントのステージに出場しよう!

5月に神宮前二丁目で行われるお祭り「ピープルデザインストリートvol.6」のステージでパフォーマンスしてくれる人を募集します! 音楽バンド、ダンス、最近始めた手品など、ジャンルは問いません。

日時 ●2017年5月14日（日）午後 主催 ●神宮前二丁目商和会  
お問い合わせ先 ●神宮前二丁目新聞

神宮前二丁目新聞 第8号 2017年3月31日発行 8,000部 両面4C マットコート90kg  
発行 ▶ポット出版 表紙イラスト ▶市村ゆり 制作協力 ▶認定NPO法人グッド・エイジング・エールズ  
問い合わせ先 ▶電話 ▶03-3478-1774 住所 ▶神宮前2-33-18 ビラ・セレーナ303号室  
メールアドレス ▶jin2shinbun@pot.co.jp Web ▶http://jin2news.net/

## MAP 誌面に登場したお店・会社

